



森の幼稚園へようこそ  
港区立白金台幼稚園



2月園だよ

令和3年1月28日  
園長 新井 智子

〒108-0071

港区白金台  
3-7-1



(3443)5666

<http://shirokanedai-kg.minato-kyo.ed.jp/>



立春を迎えて

園長 新井 智子

白金台幼稚園は、1月25日、47回目の開園記念日を迎えました。これまでの園のあゆみを振り返り、諸先輩や保護者、地域の皆様がつくりあげてきた歴史の重みとともに、これからも歴史を重ねて更なる発展を遂げていくことの責任を感じます。

今年124年ぶりに2月2日の節分となった豆まきでは、今年度に続き来年度も、邪気を払い、福を招くよう子どもたちと豆を撒きたいと思います。今、年長組の子どもたちは、グループごとに大きな段ボールのおにを製作しています。どのようなおににするか、それぞれテーマをもち、形や色をグループの友達と相談してつくる姿が見られます。節分に森に現れるおには何を物語るのでしょうか。

翌日は立春を迎えます。園庭の木々もよく見るとここかしこに春の息吹を感じます。子どもたちが植えたチューリップの芽もまっすぐに空に向かって伸びています。暖かくなるにつれてぐんぐんとその勢いをつけていくことでしょうか。子どもたちの成長そのもののように感じます。

年少組、年中組は、「わくわく劇場」に向けての活動が始まりました。今年は、動画配信での発表になりますが、子どもたちには「自分たちの劇が映画になる」「自分たちで動画をつくる」というイメージで意欲をもたせ、取り組ませていきます。身近な絵本を題材に表現遊びをしたり、いろいろな楽器に触れて遊んだり日々の積み重ねが「みんなで取り組むストーリー性をもった表現」につながっていきます。年長組の劇を12月に見ているので、劇遊びのイメージをもち、「いよいよ自分たちの出番！」と張り切っていると思います。その年齢に応じた取り組みをし、一人ひとりが伸び伸びと表現し、みんなと一緒に劇や表現遊びを楽しんでほしいと思います。コロナ禍で制限がある中ではありますが、子どもたちが春の息吹のような輝きを見せてくれることと期待しています。

獅子舞



おにの製作



<今月の指導のねらい>

3歳児

- 空気の冷たさや陽だまりの暖かさなどを感じながら戸外で思い切り体を動かして遊ぶ。
- 簡単なストーリーに合わせて好きなものになって動いたり、楽器を使って音をならしたりして自分なりに表現することを楽しむ。
- 身の回りのことや生活に必要なことを自分で行い、自分でできる喜びを味わう。

4歳児

- 友達の気持ちを聞いたり受け止めたりしながら、遊びや活動を一緒に進めていく楽しさを味わう。
- 学級のみんで取り組むことに進んで参加し、自分なりに表現したり、力を発揮したりする。
- 冬の自然に興味をもち遊びに取り入れたり、戸外で体を動かして遊んだりする。

5歳児

- 遊びや活動に目的をもって取り組み、友達と折り合いながら実現していく喜びを味わう。
- 生活の流れや活動に見通しをもち、やるべきことを自分なりに考えたり、友達と声を掛け合って行動したりする。
- お別れ遠足や活動の引き継ぎなどを通して、自分たちの成長を感じたり、就学への期待を高めたりする。



